

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 21 年 3 月 12 日 (2009.3.12)

【公表番号】特表 2008-529500 (P2008-529500A)  
 【公表日】平成 20 年 8 月 7 日 (2008.8.7)  
 【年通号数】公開・登録公報 2008-031  
 【出願番号】特願 2007-554332 (P2007-554332)  
 【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)  
 C 0 7 K 14/705 (2006.01)  
 A 6 1 K 38/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 3/10 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/22 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/24 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/18 (2006.01)  
 A 6 1 P 29/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/30 (2006.01)  
 A 6 1 P 17/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 1/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A  
 C 0 7 K 14/705  
 A 6 1 K 37/02  
 A 6 1 P 3/10  
 A 6 1 P 25/22  
 A 6 1 P 25/24  
 A 6 1 P 25/18  
 A 6 1 P 29/00  
 A 6 1 P 25/30  
 A 6 1 P 17/00  
 A 6 1 P 1/00  
 A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】  
 【提出日】平成 21 年 1 月 23 日 (2009.1.23)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

配列番号 4 のアミノ酸配列と少なくとも 98% 同一のアミノ酸配列を含む、単離された可溶性コルチコトロピン放出因子受容体 2 型 (sCRR2) であって、該 sCRR2 は、コルチコトロピン放出因子受容体 2 型 (CRR2) リガンドに結合する、sCRR2。

【請求項 2】

アフニティータグに結合されている、請求項 1 記載の sCRR2。

## 【請求項 3】

蛍光マーカーに結合されている、請求項 1 記載の s C R F R 2。

## 【請求項 4】

免疫グロブリンドメインに結合されている、請求項 1 記載の s C R F R 2。

## 【請求項 5】

前記免疫グロブリンドメインが免疫グロブリン F c ドメインを含む、請求項 4 記載の s C R F R 2。

## 【請求項 6】

リーダー配列を含む、請求項 1 記載の s C R F R 2。

## 【請求項 7】

重合体にコンジュゲートされる、請求項 1 記載の s C R F R 2。

## 【請求項 8】

前記重合体がポリエチレングリコール ( P E G ) である、請求項 7 記載の s C R F R 2。

## 【請求項 9】

製薬上許容しうる担体に含まれる、請求項 1 に記載の s C R F R 2。

## 【請求項 10】

配列番号 4 のアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載の s C R F R 2。

## 【請求項 11】

アフィニティータグに結合されている、請求項 10 記載の s C R F R 2。

## 【請求項 12】

蛍光マーカーに結合されている、請求項 10 記載の s C R F R 2。

## 【請求項 13】

免疫グロブリンドメインに結合されている、請求項 10 記載の s C R F R 2。

## 【請求項 14】

前記免疫グロブリンドメインが免疫グロブリン F c ドメインを含む、請求項 13 記載の s C R F R 2。

## 【請求項 15】

リーダー配列を含む、請求項 10 記載の s C R F R 2。

## 【請求項 16】

重合体にコンジュゲートされる、請求項 10 記載の s C R F R 2。

## 【請求項 17】

前記重合体がポリエチレングリコール ( P E G ) である、請求項 16 記載の s C R F R 2。

## 【請求項 18】

製薬上許容しうる担体に含まれる、請求項 10 に記載の s C R F R 2。

## 【請求項 19】

コルチコトロピン放出因子受容体 2 型 ( C R F R 2 ) の活性を低減するための組成物であって、有効用量の請求項 1 に記載の s C R F R 2 を含み、該組成物の投与により細胞表面 C R F R への C R F R リガンドの結合が低減される、組成物。

## 【請求項 20】

前記リガンドが、コルチコトロピン放出因子 ( C R F )、ウロコルチン 1、ウロコルチン 2、ウロコルチン 3 又はストレスコピンである、請求項 19 記載の組成物。

## 【請求項 21】

コルチコトロピン放出因子受容体 2 型 ( C R F R 2 ) の活性を低減するための組成物であって、有効用量の請求項 10 に記載の s C R F R 2 を含み、該組成物の投与により細胞表面 C R F R への C R F R リガンドの結合が低減される、組成物。

## 【請求項 22】

前記リガンドが、コルチコトロピン放出因子 ( C R F )、ウロコルチン 1、ウロコルチン 2、ウロコルチン 3 又はストレスコピンである、請求項 21 記載の組成物。